

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2024年第6号

2024年第6週(2月5日~2月11日),月報1月

◆◆注目すべき感染症の動向◆◆

—新型コロナウイルス感染症：県全体の患者報告数は減少。—

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は12.78人(前週:16.31人)と減少しました。保健所別にみると、海南保健所管内が38.00人(前週:36.00人)と最も多くなっています。全国の定点当たり患者報告数も、13.75人(前週:16.15人)と減少しました。

県内の発生状況に関する最新情報については、県健康推進課のホームページをご覧ください。

和歌山県における新型コロナウイルス感染症発生状況(県健康推進課HP):

https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/041200/h_kansen/infu/d00213266.html

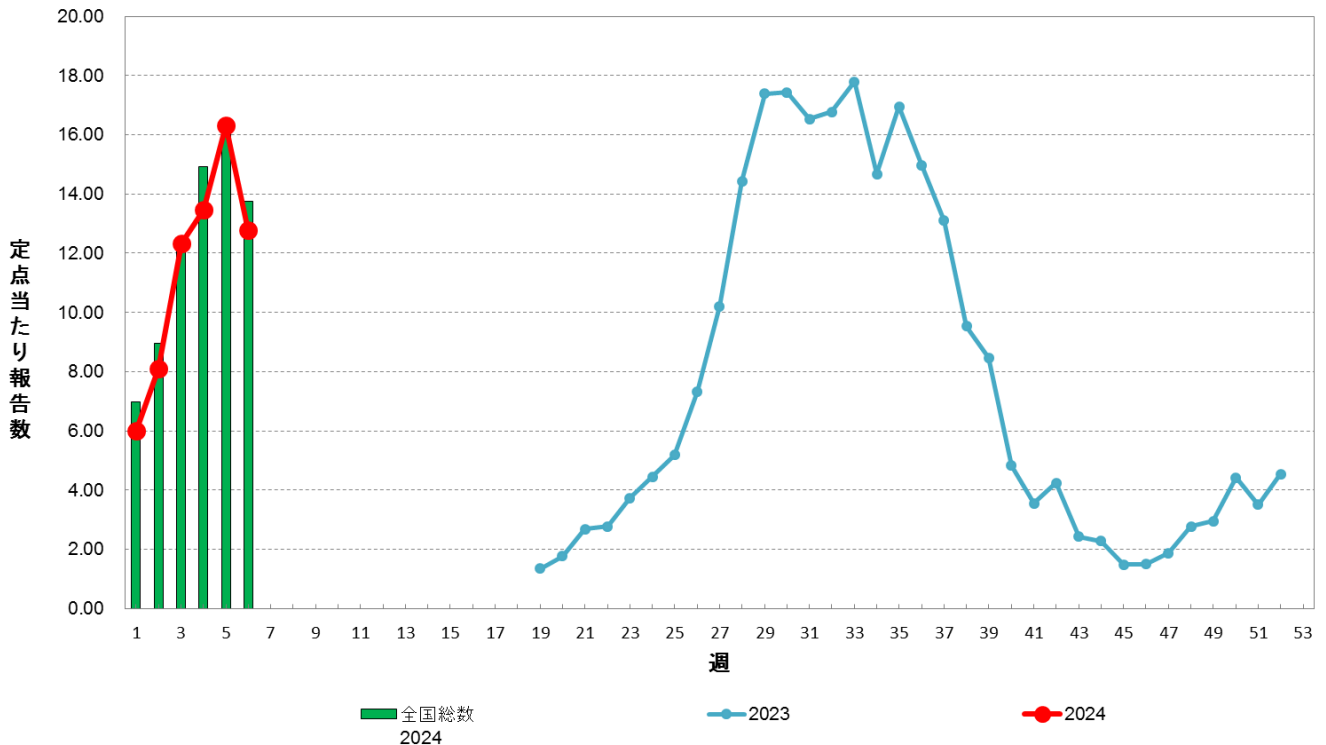
感染症法の位置づけが変更されたことにより、日常における基本的な感染対策は個人や事業者の判断に委ねられることとなりました。基本的な感染対策として、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着脱などは引き続き有効です。

新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省HP):

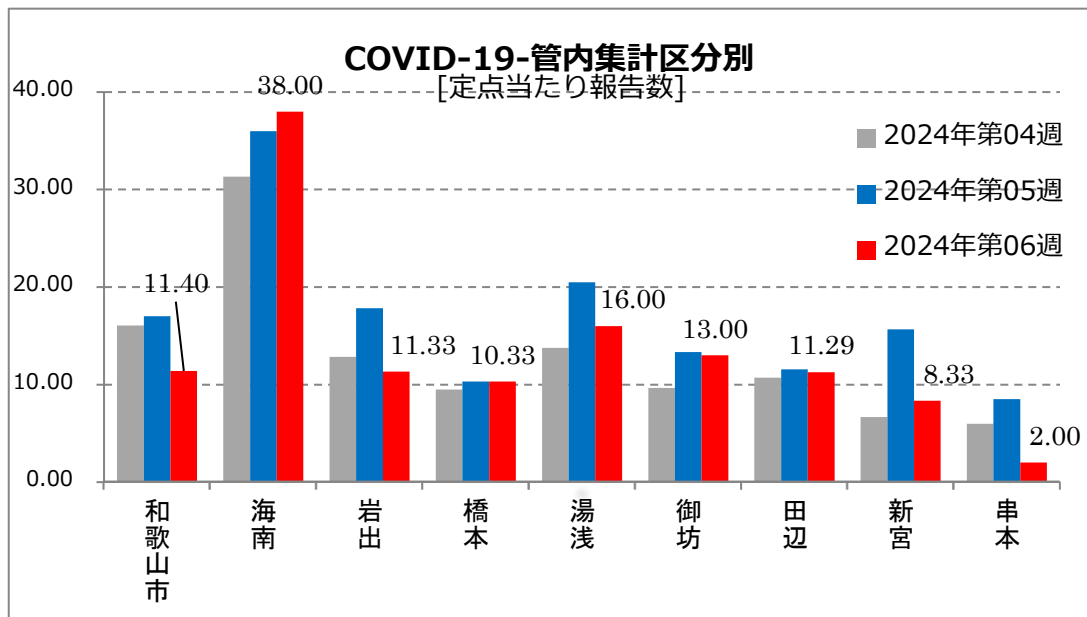
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス感染症に関連する情報について(県広報課HP):

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/covid19.html>



COVID-19(和歌山県)



一 感染性胃腸炎：県全体の患者報告数は減少。一

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルス等が主な原因です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は6.53人（前週：6.87人）と減少しました。

保健所別にみると、和歌山市保健所管内10.11人（前週：13.44人）と最も多くなっています。

全国の定点当たり患者報告数も、6.88人（前週：7.44人）と減少しました。

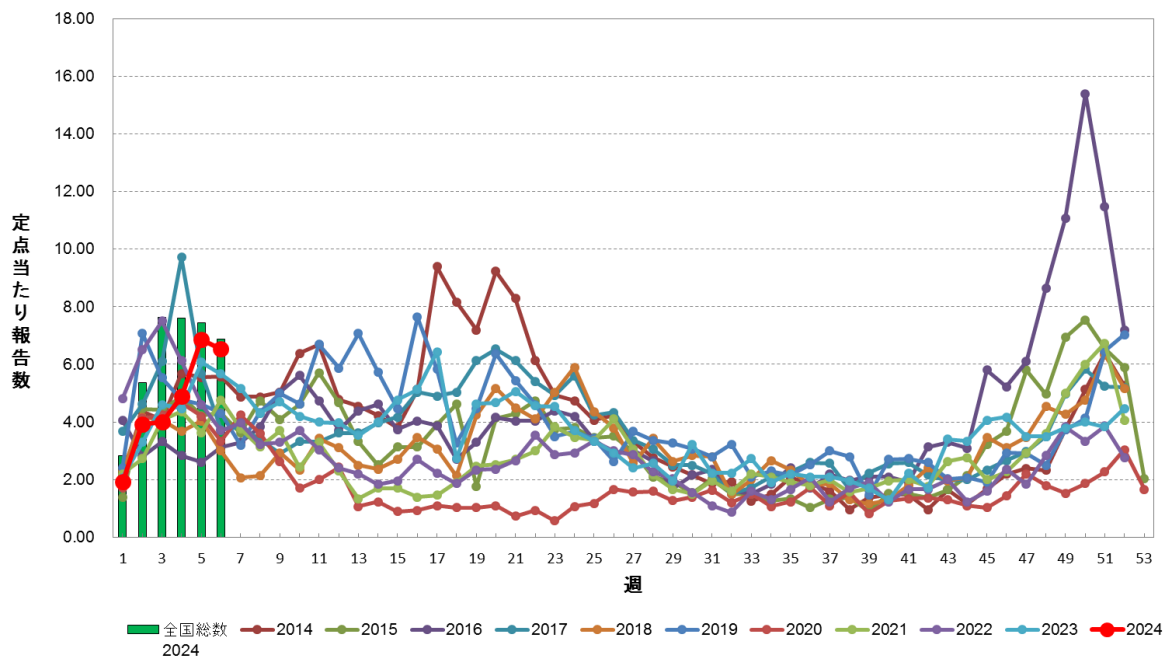
ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

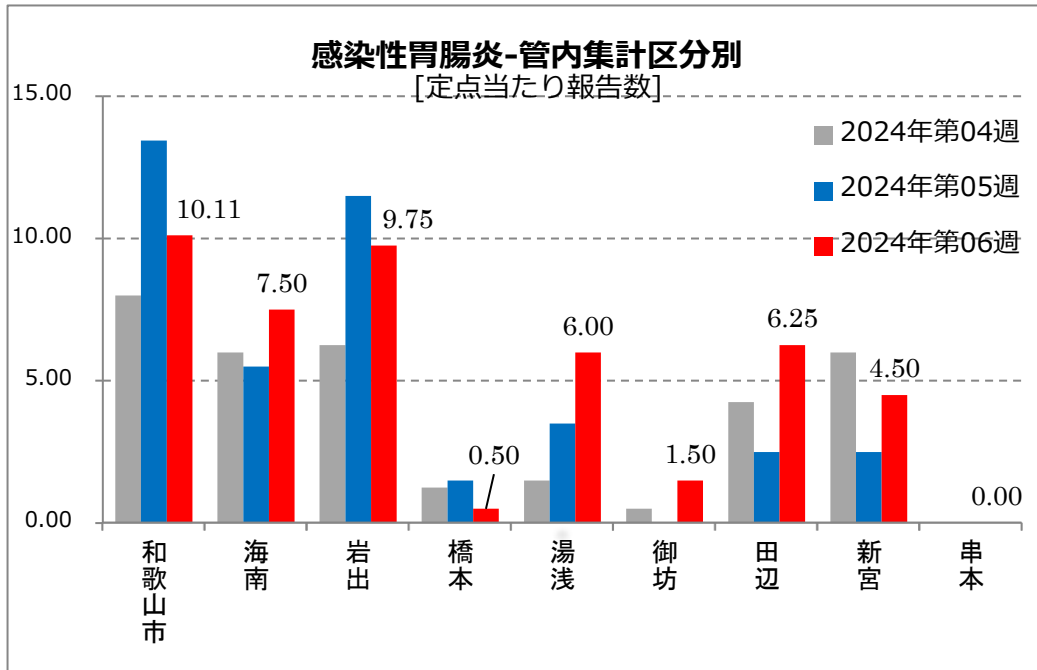
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>

ノロウイルス等検出状況 2022/23シーズン(随時更新) (国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/norovirus-m/2082-idsc/iasr-noro/5701-iasr-noro-150529.html>



感染性胃腸炎(和歌山県)



ーインフルエンザ：県全体の報告数は減少。海南保健所、新宮保健所管内で警報レベル！ー

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。

和歌山県全体定点当たり患者報告数は、18.84人（前週：19.90人）と減少しました。

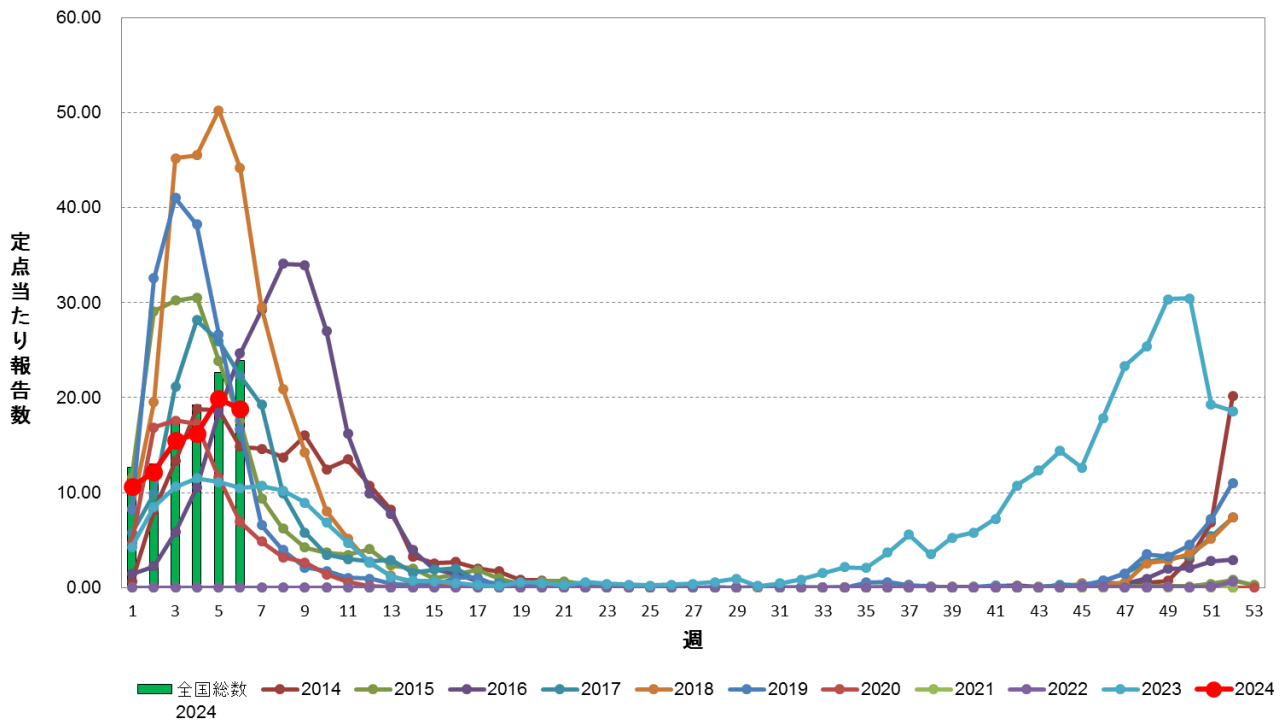
保健所別では、和歌山市保健所管内が29.27人（前週：24.07人）と最も多くなっています。

全国の定点当たり患者報告数は、23.93人（前週：22.62人）と増加しました。

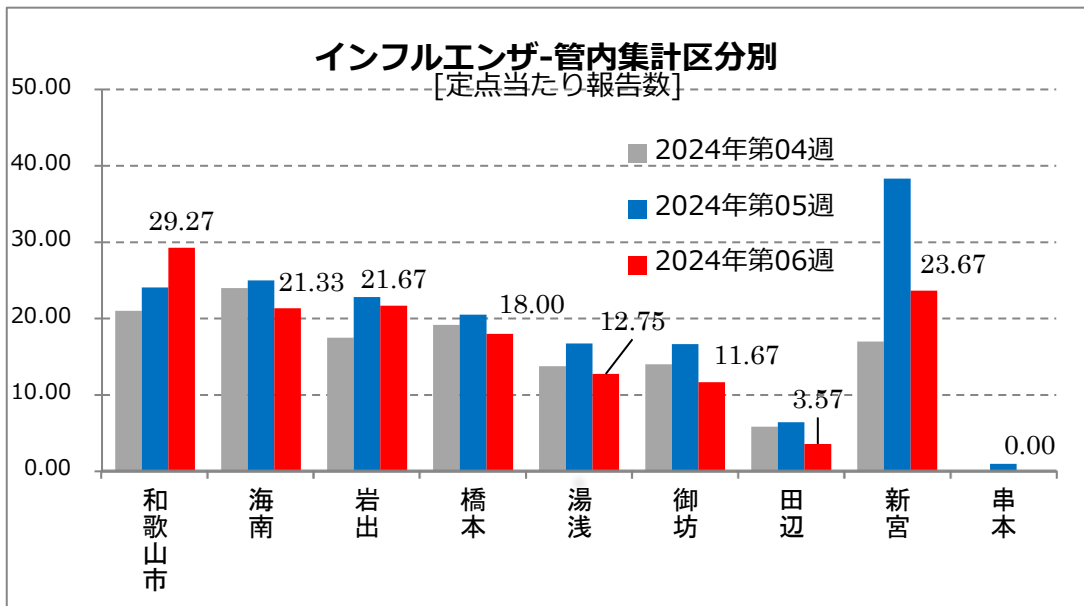
手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケット、ワクチン接種等を心がけてください。

インフルエンザに関するQ&A（令和4年度版）はこちら：厚生労働省HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/QA2022.html



インフルエンザ(和歌山県)



ー A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：県全体の報告数は減少。田辺保健所管内で警報レベル！ー

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う細菌性の感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、2.70人（前週：3.07人）と減少しました。

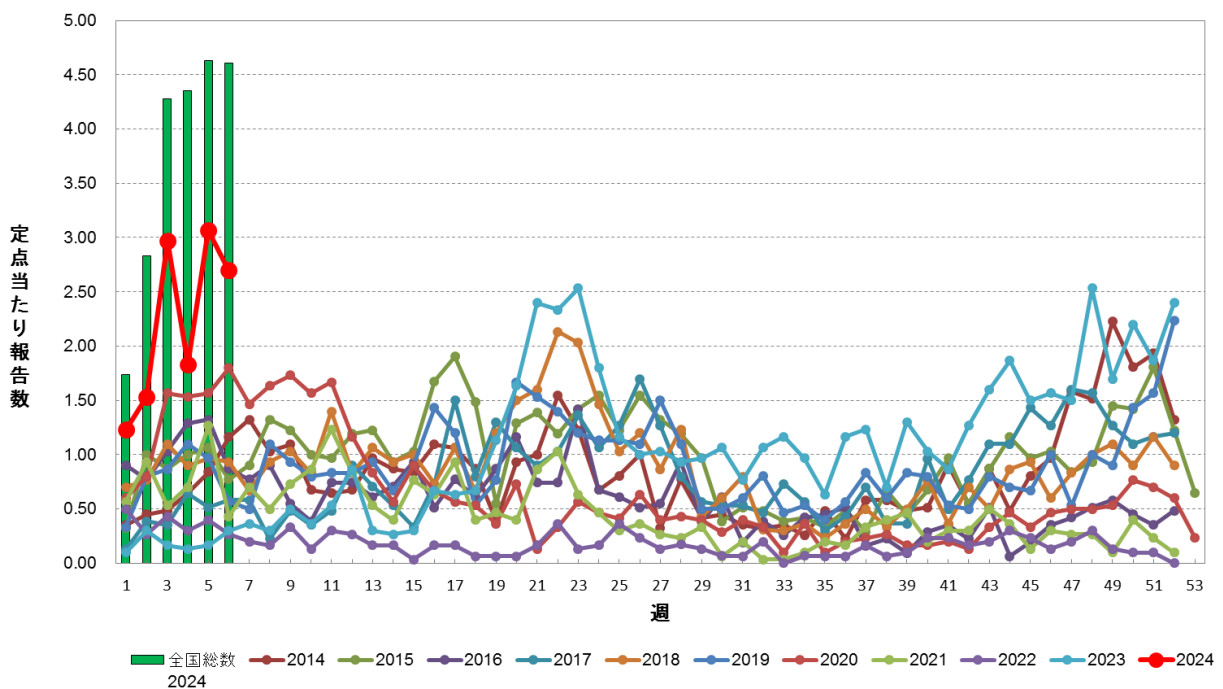
保健所別では、田辺保健所管内8.75人（前週：11.25人）と最も多くなっており、警報レベルとなっています。

全国の定点当たりの患者報告数も、4.61人（前週：4.63人）と減少しています。

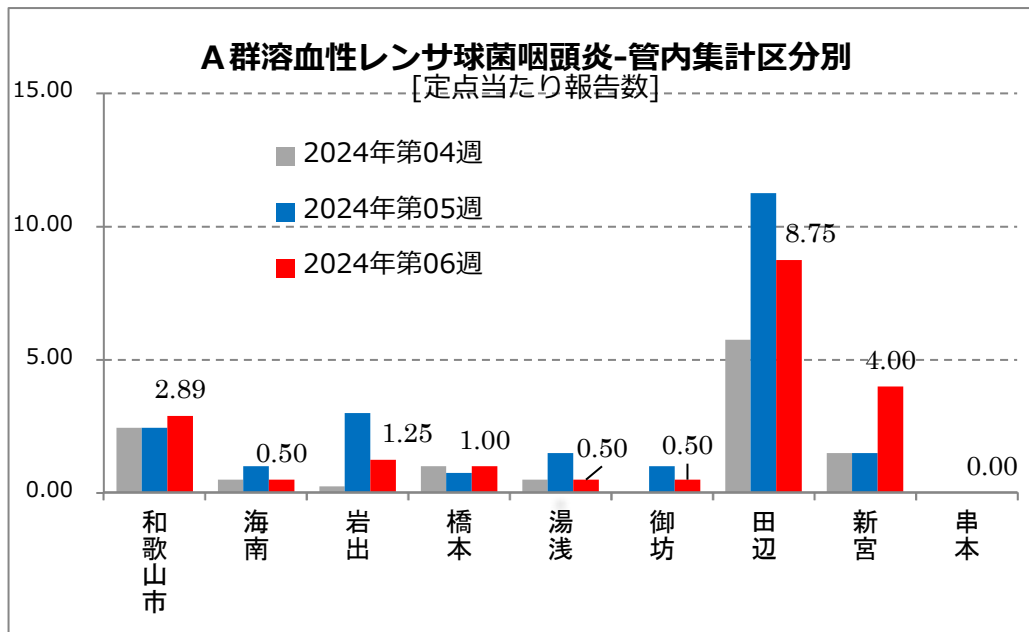
主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、手洗い、うがいを徹底し、感染者とのタオルの共有は避ける等、予防に努めましょう。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(和歌山県)



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：報告はありませんでした。
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名、梅毒 1名

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	6
つつが虫病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
後天性免疫不全症候群	3
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	3
梅毒	7
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- インフルエンザ：海南保健所、新宮保健所
- 咽頭結膜熱：海南保健所
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：田辺保健所

注意報レベル

- インフルエンザ：和歌山市保健所、岩出保健所、橋本保健所、湯浅保健所、御坊保健所

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ・COVID-19）

		総数	～5 ヶ月	～11 ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～69	70～79	80歳 ～
インフル エンザ	報告	923	1	6	16	20	20	37	56	83	74	89	116	254	57	17	33	23	12	2	2	5
	定当	18.84	0.02	0.12	0.33	0.41	0.41	0.76	1.14	1.69	1.51	1.82	2.37	5.18	1.16	0.35	0.67	0.47	0.24	0.04	0.04	0.1
COVID- 19	報告	626	5	11	20	10	15	13	19	16	26	17	24	91	45	41	50	61	55	42	35	30
	定当	12.78	0.1	0.22	0.41	0.2	0.31	0.27	0.39	0.33	0.53	0.35	0.49	1.86	0.92	0.84	1.02	1.24	1.12	0.86	0.71	0.61

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	12	3	1	2	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.4	0.1	0.03	0.07	0.1	0.07	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	21	-	2	2	2	4	5	2	2	1	-	-	1	-	-
	定当	0.7	-	0.07	0.07	0.07	0.13	0.17	0.07	0.07	0.03	-	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	81	-	-	1	2	7	9	11	17	6	7	8	12	-	1
	定当	2.7	-	-	0.03	0.07	0.23	0.3	0.37	0.57	0.2	0.23	0.27	0.4	-	0.03
感染性胃腸炎	報告	196	1	8	20	31	25	18	21	14	10	12	11	17	2	6
	定当	6.53	0.03	0.27	0.67	1.03	0.83	0.6	0.7	0.47	0.33	0.4	0.37	0.57	0.07	0.2
水痘	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告	6	-	-	-	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.2	-	-	-	0.03	0.07	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.07	-	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	439	64	130	108	51	35	25	71	-
	定当	29.27	21.33	21.67	18	12.75	11.67	3.57	23.67	-
RSウイルス感染症	報告	3	2	-	7	-	-	-	-	-
	定当	0.33	1	-	1.75	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	10	3	5	1	-	1	1	-	-
	定当	1.11	1.5	1.25	0.25	-	0.5	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	26	1	5	4	1	1	35	8	-
	定当	2.89	0.5	1.25	1	0.5	0.5	8.75	4	-
感染性胃腸炎	報告	91	15	39	2	12	3	25	9	-
	定当	10.11	7.5	9.75	0.5	6	1.5	6.25	4.5	-
水痘	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告	4	-	2	-	-	-	-	-	-
	定当	0.44	-	0.5	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	1	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	1	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
COVID-19	報告	171	114	68	62	64	39	79	25	4
	定当	11.4	38	11.33	10.33	16	13	11.29	8.33	2

<院内感染症の動向>

1月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多く報告されており、2.09人(先月：2.55人)となっています。患者報告数が最も多い年齢階級層は70歳以上で、全体の約69.6%を占めています。

【1月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	23	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	2	1	16
	定当	2.09	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	0.18	0.09	0.18	0.09	1.45
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症報告 (WIDR) 2024 年第 6 号

発行日：令和 6 年 2 月 15 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/idsw/d00153659.html>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目 1 番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。